

もぐもぐだより 2月

調理員 記

2月は「節分」にちなんで、大豆製品が給食によく出ます。そこで、子どもたちに大豆を身近に感じてもらう苦手意識を払拭してもらおうと大豆の食育活動を考えました。

ぞう組・ぱんだ組 乾燥大豆を煮て食べました！



煮る前の大豆を観察しました！



大豆を煮ているところも見ました！



「豆が踊ってる！」



「くんくん」
どんなにおいかな？



「あまくて、おいしい」「お米みたいなおいがる」「豆が大きくなった」「おかわり！」大豆への苦手意識もなくなり、たくさんの発見もできました。

乾燥大豆を使って箸の練習！



ぱんだぐみ

正しい箸の持ち方を意識しながら、皿の大豆を自分のカップに移しました。

うまく箸が使えず掴むことに苦戦しましたが、みんな大豆と箸に集中し夢中になって取り組んでいました。一つ大豆を移すごとにホッとしたり、にこっと微笑んだり色々な表情を見せていました。



ぞうぐみ

箸を使って隣の皿に大豆を移す、チーム対抗「豆運びゲーム」をしました！みんな真剣な表情で取り組んでいました。

時には焦って、チーム内で大豆の取り合いになり揉めることもありましたが、皿に移し終わると

「イエーイ！！」という笑顔でした。

